



議会だより

かつらぎ

Gikai 2023.5 (令和5年)

発行／和歌山県かつらぎ町議会
編集／議会だより編集特別委員会

97号



妙寺小学校入学式での記念撮影

主な内容

希望の持てる未来のかつらぎ町を目指して 2ページ

かつらぎ町のここが好き 写真で魅せるまちじまん 16ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 20ページ

希望の持てる未来のかつらぎ町を目指して



中阪雅則町長

中阪雅則町長は、あいさつの中で「人口の社会増減は、昨年から改善が見られ人口減少に少しずつ歯止めがかかってきたと考えて間違いない」とした上で「若者世代の定住は大きな課題であり、若者が住みやすいと思える町とは、すべての世代の人が住みやすいと感じる町でもある」と述べた。今年度予算は「防災・減災対策」「子育てしやすいまちづくり」「産業・観光・移住定住対策」「福祉と健康のまちづくり」を重点項目として編成している。

予算の重点施策

まちづくり

アドバイザーを置き本町の情報を効果的に発信する、新しいメディア戦略を展開する。

移住希望者が増加傾向にあるため、子育て世帯等を対象とした「地域優良賃貸住宅」を、民間資金活用で整備する。

マイナンバーカードの普及促進に向け、町内会などに出向く出張サポート申請や、町内郵便局（大谷・妙寺・笠田・渋田）

の4局で申請を受け付ける。

子育て・教育

0歳から2歳の第1子および第2子の保育料を完全無償化する。

子育て世帯に対する「経済的支援」の国補助対象の5万円に加え、4年度に引き続き町単独で5万円を上乗せ支給する。

小学校のプログラミング教育充実のため教育用ドローンを整備する。

天野・志賀・新城の3地区で地域交流センター

内に公民館を設置する。

J A天野グリーン店跡地に「歴史民俗資料館」を整備する用地を確保する。

健康福祉

いきいきサロン事業として、各種団体も実施できるとともに、年齢制限をなくし幅広い年代の交流を可能とした。

かつらぎ西部公園北側に、全天候型トラック、ジョギングコースや、芝生広場、砂場などを整備する。

フルーツラインから見た三谷橋周辺

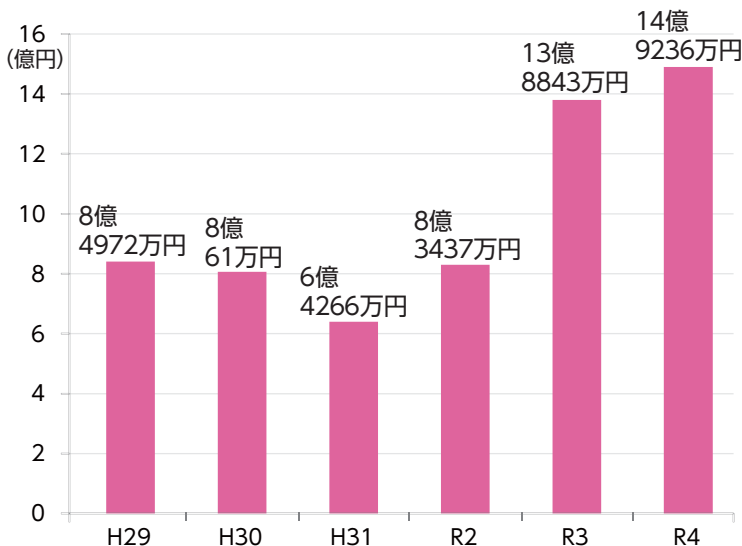
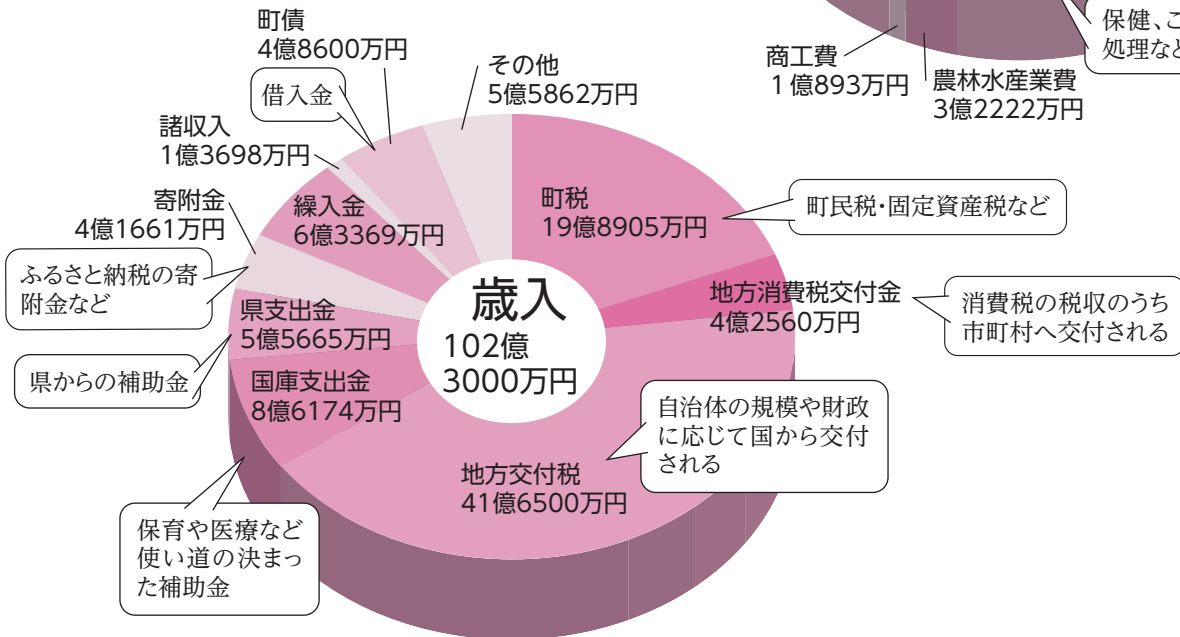
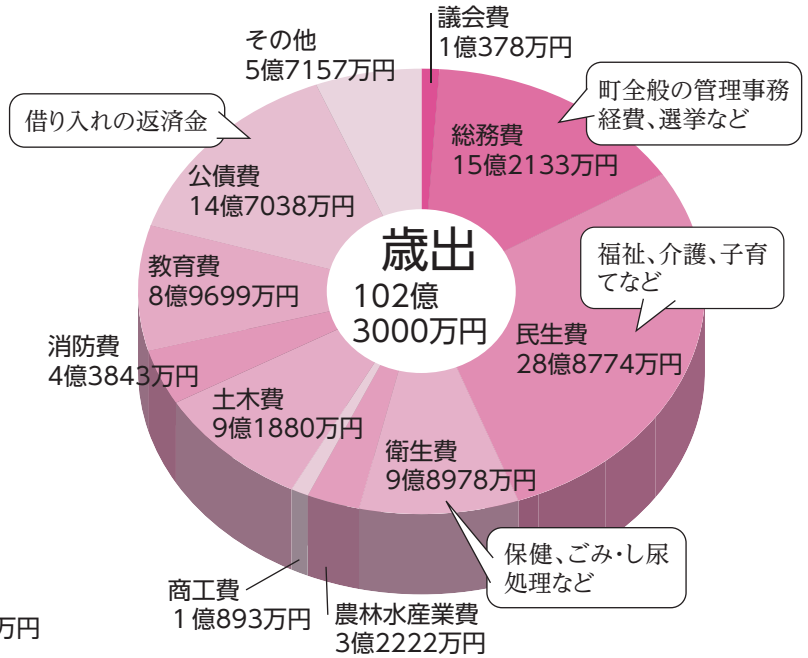
財政は改善へ 重点は子育て支援

※万円未満は切り捨て



議会だよりキャラクター
「かきかちゃん」

グラフは
一般会計予算
だよ



令和4年度末の基金残高見込額は14億9236万円となり、令和3年度末から約1億円増加した。
ふるさと納税の積み立てによる「ふるさとつらぎ基金」の活用と行財政改革が財政の改善に寄与している。

ふるさと納税が
基金改善に寄与



かつらぎ西部公園整備完了へ



3月20日に開催されたイベント「みんなでマルシェ」（JMT大作戦実行委員会と町教育委員会共催）

かつらぎ西部公園整備事業

1億
4698万円

概要

かつらぎ西部公園北側の広場を多目的広場(全天候型300mトラック、ジョギングコース、芝生広場、砂場等)として整備する。

アイデア次第

遊具が無い公園でも、アイデア次第だと思います。子どもから年配の方まで、楽しめる場所になってほしいです。



もりなが えり
西飯降 森永 恵梨さん

芝生の公園は使いやすい

アクセスが非常に良く、芝生の公園は使いやすいです。ペット禁止が残念なことと駐車場の問題の解決を望みます。



JMT大作戦実行委員会

ひょうぐ けいこ
表具 恵子さん

かめだ えりこ みねおか
亀田 枝里子さん 峯岡 かずみさん

かつらぎ西部公園にあるパークゴルフ場について質疑が行われた。

問

パークゴルフ場使用料の年間予算2244万円の積算内訳は。町内町外の利用者見込数は。

生涯学習課長 年間2万5000人を見込み、町内は7500人、570万円。町外は1万7500人、1674万円。

問

町民の利用者が30%満たない中、より多くの町民に利用してもらうようどんな取り組みを進めるのか。

生涯学習課長

高齢者が9割なので、子どもから65歳までの利用者を増やすため、学校や公民館などで利用の案内を勧めたい。



子育て支援を充実



出産・子育て応援事業

1354万円

利用者負担額(保育料)

1899万円

無償化による子育て支援事業

概要

- ①全ての妊婦・子育て家庭に対して、保健師を中心に寄り添う支援を行う。
- ②経済的支援として妊婦5万円、出産後乳児に10万円（うち5万円は町の上乗せ）を支給。
- ③0～2歳の保育料を全て無償にする。

ありがたいです。
経済的支援により安心して出産から子育てまでサポートしてくれるのは、本当にありがたいです。



笠田東 安井 愛梨さん
安井 咲優香ちゃん(左)
安井 結郁和ちゃん(右上)
安井 維久翔ちゃん(右下)



イメージ写真



幅広い年代のサロン事業に



ひまわりの会

ゆかわ まきこ 湯川 眞喜子さん
こいなか たきこ 恋中 多喜子さん

いきいきサロン事業

442万円

概要

交流の輪を幅広い年代に広げ、同様の事業を行う老人クラブなどの他団体に補助を行うことができるように拡充。

交流を期待
月2回活動しています。年齢が撤廃になり、さまざまな世代との交流を期待。他サークルとのつながりも検討いたします。



三つ葉会(町ノ町)サロンの風景



魅力ある寄附金の返礼品



ふるさとかつらぎ寄附金特産品送付事業

概要

1件5000円以上の寄附者を対象に、地元特産品等を贈呈し感謝の意を表するとともに、ふるさとかつらぎ寄附金の推進を図り、地元特産品のPRを行う。

2億
9557万円

ふるさとチョイス



ふるなび



楽天ふるさと納税



フルーツ



スカルプD
(薬用シャンプー)



こめ油



ほりにし(スパイス)



かつらぎカヌレ(洋菓子)

二次元コードを読み取ると町の返礼品が見れる



さらに充実 利用率の高いあじさいホール

総合文化会館改修事業

1億
816万円

概要

経年劣化により、故障または故障の恐れがある舞台吊物機構などの設備について、令和5年度から令和8年度までの4年間で計画的に改修を行う。



妙寺中学校
やまべ たかこ
山部 太佳子教諭

「音返しコンサート」は今年で11回目を迎えました。素晴らしい環境で演奏できることは、とても貴重な経験です。

素晴らしい環境



築29年の総合文化会館



1000件の空家どうする？

空き家対策事業

1390万円

概要

空き家の不良度など状態を明らかにし、利活用や除却を促進するとともに個別に相談が受けられる窓口体制を整える。

問

前回の自治区長による空き家調査の成果と課題は。

企画公室長

平成28年実施で291件。今回の基礎資料として活用。調査結果は全地域でなく統計的に見れば1000件ぐらいで実態と乖離している。できるだけ洗い出

してデータベース化した。調査は、職員が区長、町内会長に協力を依頼し、地図に落とし込み、委託業者が現地調査を行い判定する。



イメージ写真



命の水 整備へ

下志賀地区飲料水供給施設整備事業

1億

6500万円



みなみおかのぶひで
志賀 南岡 建榮さん

大変ありがたい

4～5年前に要望し、今年度事業開始することは大変有難いです。志賀地区の生活環境の改善を願います。



測量中の現場（下志賀）

概要

下志賀地区へ飲料水供給施設を設置し、下志賀地区および隣接する日高地区の一部への給水を行う。



雑誌に掲載された観光協会の広告

新たな メディア戦略で 情報発信を

概要

町の情報発信には、広報紙とホームページの掲載、SNSなどを活用した情報の提供を行ってきた。しかし町外・県外での知名度が低いため、新聞や雑誌等の紙媒体とインターネットなどを効果的に活用した情報発信に、専門のアドバイザーを置いて今までにない視点や発想による効果的な広報活動を実施し、関係人口の増加を図る。

問 雑誌2誌への掲載

か。というのはどういうもの

企画室長 雑誌の1ページを使った全面広告になる。



特定非営利活動法人
かつらぎフルーツ王国振興公社
土井 富久子 理事長

魅力発信に期待

フルーツ王国の魅力
を発信していただくこ
とで、全国各地にさま
ざまな果物をお届けで
きることを期待してい
ます。

民間資金で賃貸住宅を整備

概要

移住希望者が年々増加傾向にあるが、受け入れ住宅が少ない状況なので、子育て世帯等を対象とした。PFI（公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法）事業として整備する。

問 PFI事業として

整備することで、将来も含め町の負担はどうなるのか。

企画室長 本年度は、PFIの導入が可能かどうかの調査・検討を行う。導入が可能となれば、

※BTO方式での導入を想定している。

建設は事業費も含めて事業者が行い、完成後に所有権を町に移転し、事業費の50%の補助金が国から町に入金され、事業者に支払う。建設費の50%は国庫補助金で、残り50%は町が毎年返済することになる。返済の間の家賃は町に入るの、そ

問 整備後の運営や維持管理費はどうなるのか。

企画室長 BTO方式では、運営や維持管理の町の負担はない。



※BTO方式とは
民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理および運営を行う。



薬局に設置されているマイナンバーカード読み取り機

マイナンバーカードの普及は

概要

マイナンバーカードの普及率は令和4年12月末で56.3%（9082枚）。令和6年度末までに未交付者5000人に発行することを目標とし、令和5年度は半数の2500人の交付を目指す。入所施設や町内会での出張サポート申請や町内郵便局（大谷・妙寺・笠田・渋田）でも、マイナンバーカードの申請ができるようにする。

問

セキュリティ対策はどうなるのか。情報漏洩時の対応は。

参事（総務・厚生担当）

プライバシー性の高い情報は記載されていない。漏洩した情報の公表と対策を明らかにする。

町長 マイナンバーを利用するかしないかは、住民のそれぞれの考えによる。

お手伝いします

郵便局ではマイナンバーカード申請のお手伝いをさせていただきます。ご利用をお待ちしています。



かつらぎ笠田郵便局
きむら よしたか
木村 嘉孝 局長

概要

令和5年度以降の新型コロナウイルスワクチン接種について、5年度の予算編成時に、国からの方針が示されていないかつたので、高齢者の接種1回分の予算を計上した。

コロナウィルスワクチン 高齢者接種を予算化

問

令和5年度の実施計画は。

健康推進課長 国は予防接種無料を、令和6年3月31日まで延長した。5月8日から高齢者と基礎疾患のある人から接種を開始する。秋以降は5歳児以上の人に対し1回接種を実施する。



イメージ写真

笠田中企業誘致の用地買収は

概要

笠田中ほ場地における企業用地の用地買収予算は、未収用地があるので令和5年度に繰り越された。

問

買収の状況と事業の見通しは。

産業観光課長 現在、内

諾をもらっているのは約60%。繰越明許を行うが、執行できない場合は不用品となる。そうすると令和6年度予算で再度予算を組む。農振地域の適用除外に約1年、その後、農地の宅地転用と開発許可の申請を行う。申請には具体的な事業内容が必要。

ドローンを活用した教育って？



学校で使用するドローン

概要

令和4年度からドローンを活用したプログラミング教育を実施している。今年度から5台を65台に増やし、操縦体験なども行う。

問 どのような成果を期待しているか。

教育総務課長 問題解決能力の向上、人生と社会づくりに生かす、チームワークやコミュニケーション能力の向上を期待している。

問 ドローン操縦においての安全対策は。

教育総務課長 安全に操縦するための練習をまず行い、目の保護の観点から、ゴーグルの装着や、髪が巻き込まれないような髪を束ねるなどの対策を考えている。また飛行エリアと操縦エリアを完全に分けて行い、飛行中は座りこまないなど徹底した対策を施したい。

自分でできる楽しみ

自分たちで操作する楽しみと、プログラムなど自分で考える楽しみが、子どもたちにとってすごく良い体験です。



梁瀬小学校
やま だ まさとし
山田 真稔 前校長

準中型免許が必要な消防車の運転は

概要

自動車運転免許の制度変更により、消防自動車の中には準中型免許を必要とするものがでてきた。町の対応が求められる。

問 機動隊の消防車は準中型免許がないと運転できない。今後、現在の団員が退団し、新入団員が増えれば、普通免許しか持たない団員が増加す

る恐れがある。今後どのように対応するのか。
危機管理課長 ポンプ車の在り方とともに消防団と協議していく。

公的補助を

普通免許で運転可能な車では、大きな火災発生時に十分な対応が難しい。免許取得に公的補助を求めます。



しもが い と やす た か
御所 下垣内 泰貴 さん



準中型免許が必要な消防自動車

中学校の部活動はどうなっていくの？

概要

本町は地域に部活動を移行する推進事業の研究指定を国から受け、令和3年度から実施。休日の部活動の段階的な地域移行に向けて取り組んでいる。課題には、生徒の減少とそれに伴う運動クラブの種類の少なさがある。現時点では、生徒間のモチベーションと指導者の意欲との間にも課題がある。

問

外部指導者と教員との情報共有は。

教育総務課長 当面は教員も一緒に指導を行う。

学校、教員、指導者のコミュニケーションをしっかりとっていききたい。また、推進コーディネーターを活用しながら、問題を解決したい。

問

地域移行は、部活動の全てを地域に移行する計画の一環なのか。

教育長 今後、令和5年度から令和7年度までには、段階的に移行していきたいと思っている。3年間の取り組みの検証をしっかりとした中で、令和8年度から全部のクラブを地域にもっていききたいと思っている。



問

国の人件費補助はずっと必要。アスリートが引退した後の仕事として成り立つようにし、人件費は上乗せすべき。

教育長 地域によってアスリート数が全く違う。国や県の人材バンクがあればありがたい。人件費の引き上げは検討したい。

破れにくい可燃性ゴミ袋へ

概要

裂けやすいという意見を踏まえ、リニューアル！

問

ごみ袋はどう改善したのか。

環境課長 袋の厚みを0・035mmから0・04mmに変更した。引っ張りの強さの改善。触ってもらうと厚みが増えていることが分かる。

袋の厚みに期待

リニューアル有難い。動物が袋を破って荒し困ることも多い。厚みが増すことで減れば嬉しい。



たばた かずや
笠田東 田畑 和也 さん

歴史民俗資料館設置へ

問

どのような事業を展開する考えか。

生涯学習課長 文化財拠点施設として天野の旧JA支所を歴史民俗資料館にしたい。隣のゆずり葉と連携して学習会などを行う。運営委員会を設置し、職員を配置することを考える。



旧JA天野グリーンセンター

討論 賛否が分かれる

《反対》 東芝弘明議員

全ての子どもに施策を実施していることは素晴らしい。ただし町は、マイナンバーを積極的に推進し、自治体DXにも前のめり。マイナンバーは基本的な人権を守らない。いづれ大きな問題に直面する。

一般会計

《賛成》 藤本憲一議員

予算の特徴は、少子化対策のこども園利用者負担額無償化による子育て支援。未来の本町を占う重要事業「地域優良賃貸住宅整備」「メディア戦略推進」は、夢と希望に満ちた事業であり、素晴らしい構想に期待。

《反対》 東芝弘明議員

県は令和9年度の保険税統一を先延ばしにし、統一するための推計もない。1人当たりの税額が13万7900円。負担が重い。協会けんぽ並みの保険料にすべき。本町は均等割や世帯割りの軽減を考へるべき。

国民健康保険事業特別会計

《賛成》 大山希世議員

保険税の算定方法の見直しや、資産割と所得割の割合を段階的な移行および計画的な基金の繰り入れによる激変緩和措置で、被保険者への負担軽減させる対応は理解できる。制度が安定的に運営されることを切望する。

《反対》 東芝弘明議員

令和4年10月1日から医療費の2割負担が導入され、2割負担の被保険者は441人で12・4%となった。後期高齢者医療制度は、定着しても年齢で区別する究極の差別制度。廃止しないと高齢者は安心できない。

後期高齢者医療事業特別会計

《賛成》 山下慎二議員

予算は、被保険者数および医療費の増加に伴い、前年比増額予算となっている。今後、現役世代の負担はさらに増加が予想されるが、高齢者医療制度の役割は大きいものとなり、当該制度の安定運営を願う。

《反対》 東芝弘明議員

誰が考えても80万円の年金収入に対し8万2200円の保険料の負担は重く、高齢者の生活を圧迫している。国による受給範囲をさらに狭め、負担を増やす動きは止まらない。国庫負担を増やすべき。

介護保険事業特別会計

《賛成》 滝ノ上芳記議員

県内でも高い水準の介護保険料だが、基準額の第5段階で減額を行っている。今後も介護保険事業計画および高齢者福祉計画を踏まえ、介護予防や重症化予防に取り組みつつも将来にわたり、安定した制度の維持を望む。

令和5年度予算に対する採決状況（賛否が分かれた予算は9会計中4会計）

会 計 名		議員名 結果	溝	松	東	大	浦	新	藤	中	羽	滝ノ	山	表	大
			北	岡	芝	原	中	堀	本	谷	根	上	下	具	山
令和5年度予算	一般会計	11対1で可決	－	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険事業特別会計	11対1で可決	－	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療事業特別会計	11対1で可決	－	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険事業特別会計	11対1で可決	－	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

子どもの保育料を完全無償化に



問 無償化による収入減はいくらか。県内で無償化している自治体名は、**教育総務課長** 合計で1936万5000円。無償化している自治体は高野町、紀美野町、広川町、古座川町の4自治体。



イメージ写真

問 制度について調査研究する規定がなぜ削除されたのか。プライバシーに関わる個人情報の削除を求めると削除してもらえないのか。
総務課長 4月1日以降、この規定については法律上受容されていないので削除する。法令に違反して活用されている場合、もしくは情報が明らかに誤っている場合のみ削除を求めることができる。
町長 今までと違う点は

討論

《反対》東芝弘明議員
自治体が保有する個人情報に対し、誤りがなければ削除を求めることができない。審査会の「情報公開制度及び個人情報保護制度について調査研究し建議する」という権限も削られた。納得できない。

多々あると思われる。不具合がある場合は、国に意見をあげたい。

概要
令和5年度から0歳～2歳までの保育料を第1子から無償にする。町は3月会議でまず第2子の分を無償にするとしていたが、財源の見通しができたということで、さらなる条例改正と追加補正を行い無償に踏み切った。

概要
議会の個人情報保護条例の制定等を受け、条例の一部改正が行われた。今回の改正により「情報公開・個人情報保護審査会」の、制度について調査研究し建議する権限が削除された。賛成多数で可決した。

0歳から2歳までの保育料が無償に

教育・保育の利用者負担に関する条例の一部改正

調査研究の権限が削除

情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正

3月会議

3月会議では、情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正や新たな公民館設置の条例の一部改正、平和祈念像と平和祈念館の設置条例、保育料を完全に無償にする条例の一部改正などの議案が提出され、審議した。1議案を除き条例案等は全員賛成で可決した。

3月会議(2/27～3/22)	
専決処分	1件
補正予算	11件
新年度予算	9件
条例	8件
事件議決	2件
陳情	1件
意見書	1件
一般質問	7人

賛否が分かれた議案(3月会議)

件名	議員名 結果	溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山
かつらぎ町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例制定について	10対2で可決	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。

○は賛成 ×は反対

平和祈念施設が町財産に



平和祈念像

平和祈念施設の設置及び管理に関する条例制定

平和祈念像施設と平和祈念館

概要

平和祈念像施設と平和祈念館を町有財産として管理運営を行う条例制定。平和祈念像は昭和30年に計画が立てられ、完成したのは昭和45年。平和祈念館は昭和63年に建築確認が行われ、同年完成している。

問 町有財産として提案するに至った経緯は。

参事(総務・厚生担当)

昭和30年に妙寺町の有志により建設が計画された。当初の会長は町長、名誉会長に県知事、顧問に衆

議院議員などが名前を連ねていた。昭和36年には

平和祈念像建設を町営事業とし、議会は特別委員会を設置している。平和祈念館設置以後、管理運営を行っていた財団法人

平和祈念協会は、平成26年に解散し任意団体となった。これによって館の管理責任が不明確になった。以上のような経過を踏まえ、町は平和祈念協会と協議を進め、平和祈念像施設と平和祈念館を町の所有とし、条例制定することとなった。

問 平和祈念像に関わる行事には、世界平和を願うことや、戦没者の慰霊、新入学児の健やかな成長をお祈りするなど、宗教色の濃い行事が行われてきた。政教分離の原則から、宗教行事などに関係する設備はどうなっているのか。

住民福祉課長 行事は昨年から行われていない。賽銭箱や地藏菩薩など、そのようなものは撤去している。

問 施設を見ても何も変わりはなく、町の施設になったことも分からない。建設から今日までの経緯も含め、町の財産と

なったことや、施設の活用などが分かるような看板を設置する必要があるが。

町長 周辺の状況や過去の経緯も踏まえ、どのように周知するか考えたい。いずれにしてもしっかりと周知する。

問 平和祈念像施設については総点検すべき。平和祈念館は、公園内にあるので今後は親子で遊べるプレイルーム的な役

になったことや、施設の活用などが分かるような看板を設置する必要があるが。



平和祈念館

割をもつよう検討してほしい。

副町長 平和祈念像が建設されてから60年以上が経つので、点検を実施していくべきだと考える。平和祈念館は今後、提案も含め活用方法を整理して示していきたい。

参事(建設・産業担当) 祈念像の図面がないので図面を作成した上で構造計算をしていきたい。



平和祈念協会
にしやま けいしゅう
西山 恵修 会長

やっと実現

以前から長年思っていたことがやっと実現することになりました。これからは世界の平和を願って頑張りま

天野・志賀・新城公民館を設置



公民館が設置された新城地域交流センター

町立公民館設置及び管理条例の一部改正

3公民館に主事を配置

概要

昨年度の準備を経て天野公民館の移設ならびに志賀公民館、新城公民館をそれぞれの地域に設置することになった。3公民館には会計年度任用職員として公民館主事が配置される。

問 地域要望があったとの議案説明だったが、いつ、どこからどのような内容か。公民館が11館と増える中どのような運営をするのか。人口の多い地区少ない地区など地域実態を踏まえた公民館運営は。

生涯学習課長 令和3年2月と4月に新城地区と天野地区から、集落支援員、交流センターに公民館主事の配置要望があり、その後志賀地区からも同様の要望があった。各館に館長、主事、管理人を配置して笠田・妙寺公民館には主事を2人配置している。大規模館と小規模館に分けて協議し、全体協議で調整している。

問 人口規模の大きい大型館では、住民の声や要望を把握するには主事2人では不十分ではないか。

生涯学習課長 大型館の運営は、管理人も運営に関わり、必要があれば当課から応援している。

問 厚生文教常任委員会でのように取り組んできたのか。大規模館もさらに充実させるべきでは。

生涯学習課長 令和4年度予算で天野公民館の主事を3人に増員するよう説明してきた。

教育長 住民による住民のための地域づくりを進める拠点を公民館と位置付けている。大規模館では館長、運営委員会が地域の声を聴いてくれているので、今のところ問題なく運営できている。



新城公民館
かじ じろう 主事
鍛冶 二郎

みんなが集える場所

地域からの要望がようやく実現しました。子どもから高齢者までみんなが集える場所ができてうれしく思います。

保育士配置基準の引き上げと 保育予算の増額を求める 意見書可決

「保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める」意見書の採択を求める陳情書

提出された陳情は、厚生文教常任委員会に付託された。審議の結果、陳情は全員賛成で採択され、議員提案で本会議に意見書案が提出された。意見書は全員賛成で可決した。

国に提出された 意見書要旨

保育所の職員配置の最低基準は戦後からほとんど変わっておらず、1・2歳児は半世紀以上、4・5歳児は1948年に基準が定められてから一度も見直されていない。劣悪な保育士配置の最低基準を引き上げるとともに、保育予算の大幅な増額が必要である。

＼かつらぎ町のここが好き／

写真で魅せる まちじまん

丹生酒殿神社 大銀杏

三谷の丹生酒殿神社の
生命力あふれる大銀杏。
ライトアップは11年前
から続いている町の風物
詩です。



しま たちや
三谷 嶋 辰也 さん



紀の川三谷橋と万葉背ノ山の夕陽

何げない風景でも季節
や時間や方向によりドラ
マチックな景色に見え
る。我が町は素晴らしい
自然と文化が融合してい
ます。



にしうら やすひろ
滝 西浦 康祐 さん



雑誌広告でかつらぎ町の知名度アップ▲

2年間、メディア戦略推進事業を実施

本町は、令和5年度か
ら2年間、町の知名度を
上げるため、四季折々の
かつらぎ町の見所を2つ
の雑誌（全国誌）に毎月
載せる事業を実施。広告
は1ページ全部を使う。
さらにSNSを活用し
た情報発信を強化する。
東京の会社に事業を委
託。事業名は「メディア
戦略推進事業」。これは、
注目してもらい、来ても
らえる町への努力の一つ。

年24回
雑誌に掲載
SNS発信の
工夫も



「住みこちのいいまち」としてかつらぎ町への注目が高まっている。今年から全国の雑誌に町の四季折々の情報を掲載して「まちのよさ」をPRする事業も始まる。今回は、編集委員が取材をして、住民から見た「写真で魅せるまちじまん」に取り組んでみた。

樹齢600年以上 十五社の樟樹は笠田の誇り

十五社の樟樹は近畿一、
大きな樹木です。天然記
念物として昭和33年に
県指定を受け、笠田の誇
る自然資産です。



き むら ひろつぐ
笠田東 木村 博胤 さん



四季折々の花が楽しみ 堀越癪観音

標高650mの境内にて
春には枝垂桜や霧島ツツ
ジ、秋には大銀杏の黄葉
や山茶花等々、1年を通
じて楽しめます。



紀州堀越癪観音
むかい ともひろ
向井 友啓 副住職



世界遺産 丹生都比売神社

1700年以上の歴史を
もち空海に高野山を授け
た守護神の神社です。高
野参詣の前に参拝するの
が習わしです。



丹生都比売神社
に う こういち
丹生 晃市 宮司



1月会議 2月会議

フルーツラインから見た元庁舎建設予定地

財産の処分

庁舎建設 予定地売却

概要

庁舎建設予定地だった総合文化会館西側の用地9352㎡の普通財産を、株式会社ミモナに9352万円で売却する財産処分の契約が行われた。町は3回に分けて用地を1億2814万円で購入。地価の下落で購入金額よりも低い金額での売却となった。賛成多数で可決した。

1月会議で、令和5年第1回定例会の会期は、1月6日から12月27日の356日間となった。財産の処分などを審議、可決した。

2月会議では、議会の個人情報保護に関する条例などを審議、可決した。

問 審査委員会での意見は。買取金額は妥当か。

管財情報課長 雇用計画や浸水想定区域の議論が多かった。事業者は、条件を十分把握した上で買い取りたいとのこと。

売却価格は不動産鑑定額の鑑定額を最低価格として公募、1社だけの応募で、買取希望価格は最低売却価格となった。

問 鑑定価格を最低売却価格として公表し、販売することが一般的なのか。1億2814万円で購入した土地だが、再鑑定したら9352万円になった。行政内の議論は。

管財情報課長 令和4年4月1日から令和5年1月11日まで単独・対物合わせて7件である。

参事(総務・厚生担当)

公示価格、基準価格の下落率は、平成24年と令和4年の比較で20%、23%程度。取得した土地は、

1月会議(1/6~13)	
専決処分	1件
補正予算	7件
条 例	1件
事件議決	1件

2月会議(2/8~14)	
補正予算	1件
条 例	1件

3回に分けて取得したのでそれぞれ単価が違う。取得価格の合計と売却価格の差は妥当と判断している。この土地を活用しないまま放置できないので、民間による有効活用を図るため売却した。民

損害賠償の和解及び損害賠償の額を定める

公用車にドライブレコーダー設置

問 昨年1年間の事故件数は。

管財情報課長 令和4年4月1日から令和5年1月11日まで単独・対物合わせて7件である。

間への売却により地域産業の振興、新たな雇用の創出、固定資産の税収も見込める。

問 鑑定にかかった費用は。今後も最低売却価格を明らかにするのか。

管財情報課長 33万円。土地や建物の評価は、近隣地域の取引例や不動産鑑定士の鑑定評価を勘案し、プロポーザルでは最低価格を設定したい。

である。車検の際に設置するのではなく、新年度予算にドライブレコーダーの費用を計上し、早急に設置すべきであると考えているが見解は。

副町長 令和5年度に、全ての公用車にドライブレコーダーを設置する方向で予算をつけていく。

問 多発する公用車の交通事故対策として、公用車にドライブレコーダーを設置することは有効

議会の

個人情報保護条例制定

議会の個人情報の保護に関する条例制定

概要

議会の個人情報保護条例案は、議会運営委員会が5回にわたって調査を行い、全国町村議会議長会が作成した案を本会議に上程する方向で確認した。これを受けて議員提案で条例案を本会議に提出。賛成多数で可決した。

問 条例の目的が基本

的人権の擁護から個人の権利利益の擁護に変更された。条例案は、プライバシー権を含む基本的人権を守ることを宣言せず、守るべき範囲を個人の権利利益の保護に狭めた。基本的人権の擁護を記載しない理由は、

提出者 基本的人間は憲

法に規定され当然擁護すべき。条例は、法令と同様にあって記載せず、個人の情報やプライバシーを守ることを定めているので書く必要はない。

問 条例の見本は。

提出者 全国町村議会議長会の案文を尊重した。

問 議会が扱う個人情報

の具体的な姿は。

提出者 議会が保有する

個人情報、陳情・請願の署名簿、参考人、傍聴人、議会モニターなどの情報、退職した議員の経歴など。

問 議会は仮名加工情報と匿名加工情報を扱う

ことは想定されない

討論

賛否が分かれる

《反対》東芝弘明議員

プライバシー権を含む基本的人権を守ることを条例に書けないところに問題がある。議会が仮名加工情報や匿名加工情報を策定することは想定しがたい。作成しないことを規定すれば、基本的人権の擁護を宣言できる。

《賛成》浦中隆男議員

議会運営委員会が条例についての調査を行い、それに基づき条例案が提案されたものであり、かつらぎ町の個人情報保護に関する条例との整合も図られているなど、適正な条例案である。

ことは想定されないで、作成しないことを条例で記載しては。行政から情報を受け取る可能性があるので、目的が終了したら廃棄しては。

提出者 議会も町から

受け取る可能性がある。ので法令と同じ内容にすべき。町当局との整合性に努めるべき。廃棄する規定は、町の手書の保存年数の規定があるので、応じたルールにすべき。

賛否が分かれた議案(1月会議・2月会議)

件名	議員名 結果	溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山
財産の処分について	11対1で可決	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
かつらぎ町議会の個人情報の保護に関する条例制定について	9対1で可決	—	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。
記事は質問者が作成したものである。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
21	配水池等の水道のインフラ整備は	 羽根 祥起
22	庁舎建設の仕方は	 東芝 弘明
23	防犯・交通安全の強化は	 山下 慎二
24	児童館の閉館時間を午後7時に	 松岡 宏行
25	定年退職者を集落支援員に	 藤本 憲一
26	次期町長選挙にぜひ出馬を	 大原 清明
27	公共施設にネーミングライツを	 滝ノ上万記



中阪町長

各ページ議員名の下の
二次元コードを読み取ると
YouTubeで質問映像を
見ることができます。



写真はコロナ対策のため、パーテーション越しに撮影している。



配水池等の水道のインフラ整備は

町長 災害時に備えての事前対応は町の責任



羽根祥起 議員



問 本町の要とも言える大谷・妙寺2力所の大規模配水池の建設年月、貯水量、耐用年数は。

上下水道課長 大谷配水池は昭和56年3月、貯水量は2000m³、妙寺配水1号池は昭和37年3月、貯水量は420m³、2号池は昭和51年11月、貯水量は200m³、地方公営企業法で水道用配水設備の耐用年数は60年とされている。

問 妙寺配水池の1号は、既に耐用年数を経過しているが、使用に問題はないか。

上下水道課長 耐用年数は、あくまでも目安

であり、施設の減価償却ができる期間を表している。妙寺配水1号池は、現時点では使用に問題がないものと考えている。

問 各配水池について、定期的な検査などは行っているのか。また、行っているなら、検査結果はどうだったのか。

上下水道課長 大谷配水池が平成24年12月に耐震診断を、妙寺配水池が平成25年11月に劣化診断を実施した。大谷配水池は、全ての項目において基準値を満たしている。妙寺配水池については、耐用年数も経過し、劣化も進んでいることから、令和4年度から更新計画を進めており、令和5年度予算にて詳細設計、令和6年・7年度で新たな配水池整備を予定している。

問 六十谷水管橋が崩落し、紀の川北部が断水した時、紀の川の南から北への送水ルートが無かったことが問題となった。本町で災害が起こり、妙寺配水池が使用できなくなつた場合、大谷配水池からの給水は可能か。

上下水道課長 配水池の複線化を行っている。長期的な給水は想定していないが、短期的には問題ない。使用水量によっては常時潤沢に水を供給することは難しいものと考えている。

問 水道水は、最も重要なライフラインである。本町の水道施設は整備されてからかなりの年月が経過し、老朽施設も多いと思うが、有事を想定して各施設の定期的な検査や更新は必要と考えるが、町長の考えは。

町長 水道施設は最も重要なインフラであり、災害時に備えて事前の

対応は必要で、管理・運営するのは町の責任だ。安全面はもとより、施設の長寿命化の観点からも定期的な点検と老朽箇所早期修理を計画的に進めていきたい。

その他 災害時の非常食料について質問した。



妙寺配水池(1号)

庁舎建設の仕方は

町長 意見を聴きながら進める



東 芝 弘 明 議員



問 庁舎建設に関する資料は。

参事(総務・厚生担当) 政策決定の前段階の議論についての資料は、公文書として残っていない。

問 どの段階でサウディング調査を行うのか。

参事(総務・厚生担当) まだ決定していない。

問 なぜ基本構想がこの3年間で作られていないのか。サウディングの費用は、民間業者負担。具体的な資料を出すのが業者の負担を軽減することになる。1990年初め溝端町長は、本庁舎の

一帯をシビック(市民)ゾーンとして実現した。大谷選果場という候補地に庁舎を移転すると、どれだけの庁舎機能を移転するかが課題となる。

参事(総務・厚生担当) 役場のどの機能を集約、移転するかは決定していない。

副町長 基本構想は現在策定中。基本構想を定めてサウディング調査を行う。基本構想を固めるためには、候補地が非常に重要な問題になる。

問 基本構想はいつできるのか。

副町長 用地を買収できるようになれば、最終的な基本構想の詰めに移る。

問 岸和田市は、場所が決まっていないとき



ドローンで撮影した本庁舎

に基本構想に当たる詳細な報告書を作っている。同市はいろいろな段階で住民の意見を聴いている。基本構想ができたなら案の段階で住民や議会に意見を求めるのか。

参事(総務・厚生担当) 基本構想を策定したら広く公表したい。

問 貝塚市へ視察に行った。同市は設計から建設までPFIとい

う手法を使って総合的に事業を発注した。性能発注だった。建築している段階でも住民の声を聴き変更していた。住民の声を聴きながら庁舎を建設するのか。

町長 ワークショップも開く。議員や若い世代、高齢者などさまざまな世代からも意見を聴きながら進める。

なぜ農業の単独事業を廃止したのか

問 日本一の果樹産地事業は、県3分の1、町3分の1の上乗せ補助。どうして廃止されたのか。

産業観光課長 近隣市町村に同様の補助制度はなかった。利用者が農業者の総数の2・3%だった。

問 近隣市町村のその後の変化は。
産業観光課長 橋本市、

九度山町が同様の事業を実施した。

問 本町が先んじてやっていたことが他の自治体に広がったのは。

町長 絶対必要な事業と、あれば助かる事業がある。農業が衰退する中、どのような対応をすべきかというところ対策を講じる必要がある。

※サウディング調査とは
対話型市場調査の意味で、公募により民間業者から広く意見や提案を求め、それを事業に生かす方法。



防犯・交通安全の強化は

教育長 できる人が、できる時に、
できることをする活動を



山下 慎二 議員



問 過去に登下校中の事故、事件等の件数と内容は。
教育総務課長 事故件数は、小学校では令和3年度は0件、中学校では1件。
生涯学習課長 事件等の情報件数は、令和3年度では、不審者情報は4件。

問 共有を行っている。状況に応じて職員が巡回を行っている。
問 「ながら見守り」活動を住民にお願いしては。
教育総務課長 子どもたちの安全確保は、地域の力を借りることなく進めるのは難しい。地域の見守り活動に携わる人も減少しており、日常活動を行う際、防犯の視点を持ってもらう「ながら見守り」は非常に効果的である。現行の活動の輪を広げたい。

問 今後の地域との連携は。
教育長 学校における安全教育は、定期的な訓練のみならず、日々の地道な教育活動の中にこそあると考えている。しかし、現代社会において、予想をはるかに超えるという現実がある。将来を見据え、防犯カメラ等の安全対策機器を効果的に活用しながら、できる人が、できる時に、できることをする活動の輪が広がってほしいことを願う。

資源循環型社会の実現に向けて

問 ごみ袋の多言語表示は可能か。
環境課長 日本語表記が分かりづらい外国人が増える予想される。多言語とともに、ピクトグラムのようなデザイン導入も検討する。

問 環境啓発する取り組みは。
環境課長 分別用ごみ袋の無料配布、補助金や奨励金を交付し、資源の有効活用を促進している。情報発信を強化するとともに、環境問題について学べるワークショップなどの開催を考えている。



「ながら運動」お散歩をしながら「わんわんパトロール」



子どもたちや地域の人々を見守る活動の輪を広げる

児童館の閉館時間を午後7時に

町長 時間延長してもかなりの課題、問題がある



松岡 宏行 議員



問 少子化により子ども会、育成会の組織は。

生涯学習課長 74子ども会で22、19育成会で2組織が休会。

問 子ども会の経験が成長に大きく関わるのでは。

教育長 豊かな成長には地域に学校、家庭でもない第三の居場所が大切。組織は、地域の実情などに合わせて一緒に取り組みたい。

問 ニーズ調査では、小学生の放課後の過ごし方は児童館21・7%、児童保育14%。児童館の利用状況と職員体制、開館時間は。



子どもたちが遊ぶ中飯降児童館

生涯学習課長 8館開館。1日10、30人ぐら

い。児童厚生員1人常勤。基本的には午後1時15分から午後5時まで。四郷児童館は午後2時15分から午後6時

問 利用が多い館に複数配置しては。

教育長 複数配置を検討したい。

問 児童厚生員の複数配置と閉館時間を午

後7時に取り組んでは。

町長 職員の複数配置は法の趣旨を考えれば議員の言うとおり。利用実態や総合的な機能を視野に入れ持続可能なものにならないかと考える。

問 広島市は常時職員2人体制で閉館時間は午後6時30分。2月に保護者との懇談で、児童館の時間延長を午後7時にして子育て支

援するよう一般質問すると伝えると、実現してほしいとの声が多かった。広島市や全国の実例を見習って、閉館時間を午後7時に。

町長 子どもたちの安全を誰がどのように保障するのか。時間延長してもかなりの課題、問題がある。今後の方策として考えなければ

いけないが、ただ、私は児童館の時間延長の声を聞いていない。

問 四郷児童館のように午後5時以降親が迎えにくる実例があるので、取り組んでは。

町長 児童館が親の就労をカバーさせるといふ考え方には無理がある。

資材補助制度の補助率増額を

問 資材補助制度とは。

建設課長 農道、かんがい排水設備、ため池などの農林業工事に対して直接工事費の80%を補助。累計で828件補助して残43件。

問 農道の整備での受益者負担が、高齢化での廃業や耕作放棄の機会となる。直接工事費の補助率を80%から

95%に増額しても、現実的には工事費の半分以上が受益者負担となる。農業従事者の高齢化、耕作放棄地が増加する中、農家を支援するために補助率を増額しては。さらには制度を見直しては。

町長 予算を増額して申請者に補助し、補助率の検討を加えていく。

定年退職者を集落支援員に

町長 導入が必要か議論・検討



藤本 憲一 議員



問 定年退職後の居場所と出番について提案したい。

退職者が最も長い時間を過ごすことになるのが地元地域である。リタイア後住み続けた地域に居心地の悪さを初めて感じ、家庭に閉じこもり地域社会から埋没した先には、高齢者の孤立が待っていることから、居場所づくりが大事である。さらに、居場所だけでは不安で物足りないのでは出番が必要になってくる。地域での居場所と出番に自治区役員、民生児童委員、見守り隊がある。各地域は、役員不足に苦慮している現状を考え、役場退職者に

幹旋指導できないか。
総務課長 近年、自治区役員や民生児童委員のなり手不足が課題となっていることは認識している。自治区役員は、各地域において選出されており、退職者に対し推薦指導することはできない。

問 今年役場の退職者は多いと聞いている。

40年近い年月を町民に育ててもらった地域に、恩返ししようという貢献から地域の活動に率先して入っていく方法として「集落支援員制度」がある。今までの経験を生かしたまちづくりの手伝いをしていく、新たな手法として考えられないか。

副町長 住民や地域がまちづくりの担い手として、より主体的に地域の活動や町政に参画していくことにより、地域活動の活性化が求められることから、集落支援員制度の活用

は有効な手段の一つである。

問 町長が就任して3年半。昔の慣例をどんだんなくし、新しい仕組みを考えてきた町長である。集落支援員制度をこの機会に導入しては。

町長 有効な手段の一つであるのは間違いない。ただ、どのような形で導入していくかがすごく重要である。町としては集落支援員を置いて、何をしてもらうのかも重要である。

地域の中で少し声かけができるような人が支援員である。役場のOBの人も含めていろいろな場面で退職した人々が存在する。その地域のことをある程度よく知っていて声かけができる、顔の見える関係の中での役割を果たせる人に担ってもらいたい。集落支援員を入れるかということではなく、

どんな地域課題があって、どのようにしなければならぬか。だから、支援員の導入が必要であるというところに、議論・検討が必要。



地域に集落支援員を(写真はイメージ)

※集落支援員とは
地域の実情に詳しく、集落対策の推進に
関してノウハウ・知見
を有した人材に、地方
自治体が委嘱して、集
落の「目配り役」とな
ってもらう国の取り組
み。



次期町長選挙にぜひ出馬を

町長 町長選挙に出馬する



答弁する中阪町長



大原 清明 議員



問 町長には、次期町長選挙にぜひ出馬し、引き続きの政策に取り組んでもらいたいと考えているが、町長の考えは、

町長 公約の最上位にあった防災行政無線の整備では、住民の皆さんからは喜びの声もあり、不十分さはあるもの

の、1期目の町政について一定の評価をもらっていると感じている。そのことの一つの指標として「いい部屋ネット『街の幸福度ランキング』および『住み続けたい街ランキング』2022（和歌山県版）」において、かつらぎ町がそれぞれの項目で第1位となった。このように「街のランキング」という指標においては、一定の評価をもらっているが、いまだ本町には課題が山積しており、道半ばの事業が多く残っている

と感じている。今後「住んで良かった、そして、これからも住み続けたい」という「希望の持てる町かつらぎ町」とするため、本年9月頃に挙行される次期町長選挙に出馬して、再度、町長としてまちづくりの先頭に立ちたいと考えている。今後4年間では、まちづくりにおける重点項目を6項目考えている。防災・減災対策、子育てしやすいまちづくり、福祉と健康のまちづくり、移住・定住施策の推進、地域資源を生かした産業・観光の振興、そして行財政改革の6項目を考えている。

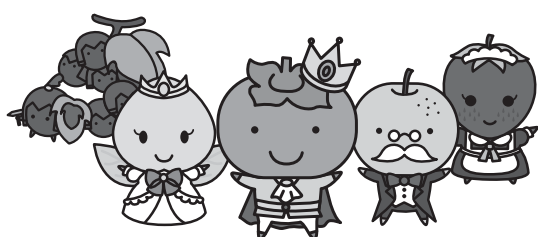
今まで取り組み、できた重点項目を引き継ぎながらも、今後も40年以内に90%程度の確率で発生すると言われている、南海トラフ地震から住民の生命と財産を守るため、さらなる防災減災対策に取り組

組むとともに、子どもを育てることが楽しくなる、子育てにやさしいまちづくりを目指すことが、誰もが住みやすいと感じる希望の持てる町、かつらぎ町になると考える。

わが町、かつらぎ町は、四季折々のフルーツが楽しめるフルーツ王国であり、世界遺産や日本遺産などの歴史文化にあふれた素晴らしい町であり、京奈和自動車道や国道480号鍋谷峠道路などの交通の利便性が高いことから、そのポテンシャルは相当高いと考えている。今後の町の発展は、役場はもとより、町議会議員、企業、そして、住民の協力を得ながら、オールかつらぎで取り組むことで成し得ることができると考えている。

その他

「行財政改革」「防災・減災対策」「産業・観光・移住定住対策」「子育てしやすいまちづくり」「福祉と健康のまちづくり」の5項目について、現時点での取り組み状況を質問した。



公共施設にネーミングライツを

企画公室長 導入に向け取り組む



滝ノ上万記 議員



問 ネーミングライツとは、地方公共団体が建物や施設の愛称をつける権利を売り、それを買った企業から対価として料金を受け取り、施設の維持管理などの財源とする制度である。例えば町立かつらぎ体育センターは、建設から40年以上が経過しているのに、これにネーミングライツを設定し広告料収入を得て、そのお金をもつて修繕費等に充ててはどうかと考えるが。

企画公室長 導入に向け取り組む。町が保有する施設の運営、維持管理に充てる新たな財源を確保し、安定的な施設サービス等の提供

を図るという面で、ネーミングライツの導入は有効な手段であると考ええる。先進事例や近隣市町の事例を参考にしながら本町にとって、

または企業側にとっても有効な制度となるよう導入に向けて前向きに取り組みたい。

「読書通帳」を導入し読書率アップを目指してはどうか

教育長

読書率アップにつながる手段だと考える

問

読書通帳を導入する目的は、読書離れが深刻化する中でも、読書通帳を導入した図書館では利用者が増加しているという実績がある。その活用事例はさまざま。全ての世代において有意義なツールとなる。本町として導入の考えは。

教育長

読書通帳の特徴は、読んだ本の数が明確になることで冊数の目標を立てることが

できる点や、目標冊数を読み切ったときには達成感を感じることができ、あと何冊で達成できるのかという見通しを立てることもできるので、読書率アップへとつなげるための一つの手段になると考える。

小さな子どもを持つ保護者にとっても、子どもが小さいときにどのような本を与えていたのか、子育ての記録と



読書通帳の例

して残すことができるので、子育て世代の人々にとっても魅力のあるものではないかと思っている。読書通帳を導入するには、機器や通帳（手帳）の費用が必要となるため、今

後費用負担を企業と連携することをはじめ、どのようにするのが良いのか調査し、検討していきたい。

総務産業常任委員会

空き家対策の現状を調査

1月19日、3月1日
委員会を開催。

1月19日は、所管事務調査として、町の空

き家対策について担当課から説明を受けた。建設課からは、不良空家除却の相談件数および指導状況の説明、

不良空家除去補助事業の内容説明を受ける。

さらに、所有者および管理者が確認できない不良空家の略式行政代執行を令和3年11月および令和4年3月に実施したとの報告を受けた。

深刻になっている空き家(写真はイメージ)

企画公室からは、空き家の活用について、空き家バンクへの登録状況と改修補助事業の説明を受けた。令和4年8月から本町全域が移住推進地域指定を受けたことで、ワンストップパーソンおよび受入協議会を設置したと報告を受けた。
3月1日には、令和5年度の予算について、委員会としてヒアリングを行った。視察
研修報告PFI事業で建設の
貝塚市新庁舎視察

2月13日に、※PFI事業で建設中の貝塚市役所を視察した。

貝塚市新庁舎は、ゼイタクで優雅な施設ではなく、住民の意見を最大限に取り入れた、住民にとって使いやすい施設であると感じた。各委員からも、パブリックコメントや町民に

よるワークショップの開催等、柔軟に住民の意見を取り入れた庁舎建設を検討する必要があるとの意見が出た。



説明する貝塚市職員

※PFI事業とは
公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金や経営能力および技術的能力を活用して効率的かつ効果的に実施し、公共サービスを提供する事業。

厚生文教常任委員会

中学校の授業見学と給食体験

1月23日、3月2日
委員会を開催。

1月23日は、妙寺中学校を訪問し、授業見学、給食体験および意見交換



授業風景(妙寺中学校)

会を行った。

授業では、パソコンを上手に使用しながら進められていた。自分の考えを求める質問も多く、現代社会での重要性を感じた。給食は、とてもおい

しかったが、コロナ禍の中、黙食の推奨で、生徒たちの楽しい会話が聞けずに残念だった。

意見交換会では、学力、体力、不登校生徒に関する内容を校長から聞いた。多様な生徒に対する先生たちの対応や、学校の取り組みや活動についても説明を受けた。

3月2日は、令和5年度予算について、委員会としてのヒアリングを行った。

また、2月会議で委員会へ付託された「『保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める』意見書の採択を求める陳情書」については、3月の委員会で審議され、出席委員全員賛成で採択された。

視察
研修報告

文化芸術でまちづくりの 東温市を視察

2月20日から2日間、

愛媛県東温市を視察した。「アートヴィレッジとうおん構想」「愛媛大学医学部との連携事業」についての説明を受けた。文化交流拠点から地域文化を発信し、地域の歴史や伝統文化を、市民とともにどう受け継いでいくか

の構想を聞いた。

また、医療連携では、大学との連携による、市民の健康状態の把握、地域産業との健康産業創出など、さまざまな取り組みについて、本町も明確なビジョンや方向性を決めていく必要性があると感じた。



視察研修風景



広報広聴特別委員会

JA紀北かわかみと
意見交換会を開催

1月6日、2月16日、
3月16日委員会を開催。

1月6日は、令和5年度議会モニター募集について話し合い、1月13日の議員全員協議会で報告した。また、3月16日には、令和5年度議会モニター選考を行った。

1月18日、JA紀北かわかみと意見交換会を開催した。議員13人、JA15人の参加により、JAの県内統合、町内の農業について意見交換を行った。

令和4年度議会モニターとの懇談会を3月16日に開催した。令和4年度を振り返って意見をもらった。



JAとの意見交換会

議員
研修報告伊都橋本四市町議員
研修会

日時 令和4年12月26日
場所 橋本市教育文化会館
講演 「人口減少時代に地方議会がなすべきこと」
講師 関東学院大学法学部
地域創生学科
教授 牧瀬 稔氏

紀北ブロック町村議会
議長会全議員研修会

日時 令和5年2月7日
場所 九度山町ふるさとセンター
講演 「質問力の向上と政策提言」
講師 自治体議会研究所
代表 高沖 秀宣氏

表紙写真紹介



4月10日、妙寺小学校の入学式。新1年生と笑顔あふれる保護者の皆さん。



議会だより編集特別委員会

安堵町議会が
視察

1月24日、奈良県生駒郡安堵町の議員全員が議会だより編集の視察に訪れた。

安堵町は斑鳩町の隣の町で面積は4・31平方キロメートル、全国で3番目に面積の小さな町。研修では、安堵町の議員の質問に各委員が答えた。写真の多さ、分見が集中した。



視察風景

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想等レポートの一部を原文のまま抜粋し掲載する。

令和4年度

議会モニターの声



本会議

新議員さん達は、熱心に取り組んでる様子が伝わってきました。初心を忘れることなく、町民公平に尽していただきたいと思います。

異論はある場合は徹底的に、又、町民の為に知り得た情報開示もお願いしたいです。
(70代女性)

映像配信を視聴して

映像配信を視聴して気づいた点ですが、採決の時、賛成の方の起立を議長が求めた場合「全員起立」の時は問題ないのですが、「起立多数」の時「採決」の画面文字が大きくて議員席が見えにくいです。ですから、「採決」の文字の大きさと画面の位置を検討いただければと思います。

(70代男性)

総務産業常任委員会

今話題となっているところのインボイス制度の趣旨と内容と必要性等を、深く洞察することなく、ただ表面的に、皮層的にそして、うわすべりの的に捉えて発言している者たちが比較的にいると云うことである。

(70代男性)

議会だより編集特別委員会

さて、「かつらぎ町の公報」と「議会だより情報誌」についても、両方が共に重複して同じ内容の記事となり易い面をもつ。

そこで、町の公報と差別化した特色が力強く強調された内容の「議会だより情報誌」を新たに創作していく必要性が発生している。

(70代男性)

議会だよりを読んで

(95号の掲載記事)

高齢者の方々が議会だよりを見てなるほどと思える内容が1ページでもあると良いと思います。

議会だよりが待ち遠しくなる内容が大切だと思います。
(80代女性)

回答：指摘のとおり「採決」の文字が大きく議員の起立状況が見えないため、「採決」の文字を小さくし、表示場所も変更しました。

これからも改善をしますので、ご意見をお願いします。





紹介

がんばる人



かつらぎ町の「農業」を担うのは君だ！

新規就農された方を紹介します。



生まれも育ちも西
洪田です。毎年友人
の畑の手伝いに行っ
ていて、自分も挑戦
したいと思い、始め
ました。
現在7反で主に平
核無柿を作っていま
す。会社員を辞めて
の就農でしたが、子
育てもひと段落した
ことで妻も応援して
くれています。議会
だよりは為になる記
事もあり読むようにな
りました。



西洪田
世儀さん
(55歳)



志賀
木村光宏さん
(24歳)

大学卒業後は農業
関係の企業に就職が
決まっていたのです
が、曾祖父の住んで
いた家が志賀にあつ
たことで、専業農家
として始めることに
しました。就農2年
目。現在4反半で茄
子と玉ネギを栽培し
ています。
さらに技術を向上
させて面積当たりの
収穫量を増やしてい
きたい。経費高騰に
対する情報や補助が
あると助かります。



丁ノ町
北浦康臣さん
(40歳)

両親は兼業農家で
主にお米を作ってい
ます。私は会社員の
傍ら、休日に手伝う
農業に少しずつ魅力
を感じていました。
3年前に両親の年
齢も考え、退職し就
農することに決めま
した。現在6反で主
に薬物野菜や夏野菜
を栽培しています。
今後は規模も拡大し
つつ、町や子どもた
ちのために役に立
ちたいと思っています。



三谷
立石和也さん
(40歳)

移住したきっかけ
は、引越す前から
移住を応援してくだ
さった方、現在する
柿栽培の方法を教え
て応援してくださる
方々がいたため、思
い切って引越すを
決意しました。今は、
1町2反で柿全般
(渋柿・甘柿)を生
産しています。将来
はかつらぎ町の農業
がさらに発展するた
めの取り組みに関わ
りたいと思っています。



新城
戸田真寿さん
(30歳)

大阪での会社員時
代では勤務が激務で
家族との時間を全く
作れないことにスト
レスを感じ、地方移
住を考えていました。
和歌山在住の友人に
「和歌山良いとこや
で！」と聞きいろん
な市町村を調べ、か
つらぎ町に住むにも
子育てするにも一番
魅力を感じ移住しま
した。現在1町半で
きゅうり、トマト、
米、柿を栽培してい
ます。お借りする農
地は耕作放棄地と決
めています。理由は
地権者の人に少しで
も長く農業を続けて
ほしいから。将来は
農業と障害者福祉の
連携に携わりたいで
す。

